

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成27年 1月26日更新

事務事業名	在宅高齢者安心確保事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	安武 祐次
体系	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進			所属課	高齢者支援課	担当者名	渡辺 良輔
	基本事業	50	高齢者支援体制の充実			所属班	包括支援センター班	(内線)	2143
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令	合志市在宅高齢者安心確保事業実施要綱		
	介護	11	2	5	11488 他	根拠	成果優先度評価結果	②	
							コスト削減優先度評価結果	-	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	一人暮らし老人等に緊急通報装置を貸与し、急病又は災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応が取れる体制を整備する。利用者が緊急時に、アズビルあんしんケアサポート(旧呼称:熊本安全センター)に通報すると、24時間体制で対応しているので、相談業務、救急車の手配、協力員等への連絡が出来る。孤独死を防止する意味で、地域ささえあい事業として平成6年度より開始した。高齢者の単身世帯が増加しているため、申し込み件数が増加しており、現在も月に10件弱の申請がある。
【業務の流れ】	①緊急通報装置利用申請書受理②社会福祉士による実態調査を行う。③専門職及び担当職員によるケア会議で審査し可否を決定する。④申請者へ決定通知及び委託事業所へ連絡、調整し装置を取り付け。⑤実績報告に基づき支払い。
【主な予算費目】	委託料:アズビルあんしんケアサポート(株)に委託。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	24時間体制での対応や、入院等の手配もしてもらえるので、大変助かっているという声がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
緊急通報装置を貸与し、緊急時に連絡すると24時間対応が可能なシステムの委託料。利用件数280件。21年度より、課税世帯は設置料金と移設料金を自己負担して設置した。	65歳以上のひとり暮らし高齢者等の家庭内の事故等に対し、適切な状況判断を行う専門的知識を有する人員を配置し、24時間体制で迅速かつ適切な対応を行う。事業はアズビルあんしんケアサポートセンターに委託。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア:実態調査数	件
イ:通報装置を設置した件数	件
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
一人暮らしの高齢者、高齢者世帯。	ア:ひとり暮らしの高齢者数
	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
緊急時の連絡を容易にする機器を設置することで利用者の安心安全な生活を送れる環境が構築でき、緊急事態時に早急に対応することで、未然に事故等を阻止することができる。	ア:緊急通報があった件数
	件
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠	
緊急通報装置システムを利用することで、安心の提供及び孤独死の予防がされているかどうかを緊急通報の件数で把握する。 (利用者の高齢化に伴い、緊急対応が増えると予測されるため。)	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	28年度 見込	29年度 見込		
①活動指標	ア	件	22	46	40	50	45	47	50	55		
	イ	件	22	45	40	45	40	40	40	45		
②対象指標	ア	人	2,290	2,549	2,600	2,676	2,700	2,800	2,900	3,000		
	イ											
③成果指標	ア	件	31	29	35	30	40	45	50	55		
	イ											
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	2,856	2,850	2,898	2,704	2,973	3,061	3,061	3,061	
		都道府県支出金	千円	1,428	1,425	1,449	1,352	1,487	1,531	1,531	1,531	
		地方債	千円									
		その他	千円	1,370	1,525	1,540	1,438	1,581	1,628	1,628	1,628	
		繰入金	千円									
	(A)事業費計	一般財源	千円	1,486	2,093	1,432	1,352	1,487	1,533	1,533	1,533	
		(A)のうち指定経費	千円	0	678	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	5	4	4	4	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間	280	210	210	70	210	210	210	210	
(B)人件費計	人件費計	千円	1,130	854	854	278	854	854	854	854		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,270	8,747	8,173	7,124	8,382	8,607	8,607	8,607		

事務事業名	在宅高齢者安心確保事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 設置数・相談件数共に増加しており、目標は達成している。 <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 高齢化に伴い緊急時に不安を抱える高齢者や支援している非同居家族が増えており、申請、相談も増えているため、達成できると思われる。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 24時間体制をとっており、高齢者の安心確保のため、何かあればすぐ連絡できる体制を維持しており、向上の余地は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 高齢者対象の緊急通報体制整備事業は他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 専門事業者に委託をしないと実施困難な事業のため、削減余地はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 委託により行っており、必要最小限の人件費で行っているため削減の余地は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ケア会議で審査しているため、受益機会は均等であるが、現在の利用規定には所得要件がないため、所得の高い人については自己負担をもらうように検討が必要である。 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 高齢者の緊急時の対応として、行政が業者及び地域の住民と連携して事業を進めているので適正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

不安を抱える高齢者が、緊急通報装置を設置したことで安心して在宅で生活を送れるようになっている。趣旨は異なるものの徘徊者高齢者を早期発見できる機器等についても調査を実施していく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						